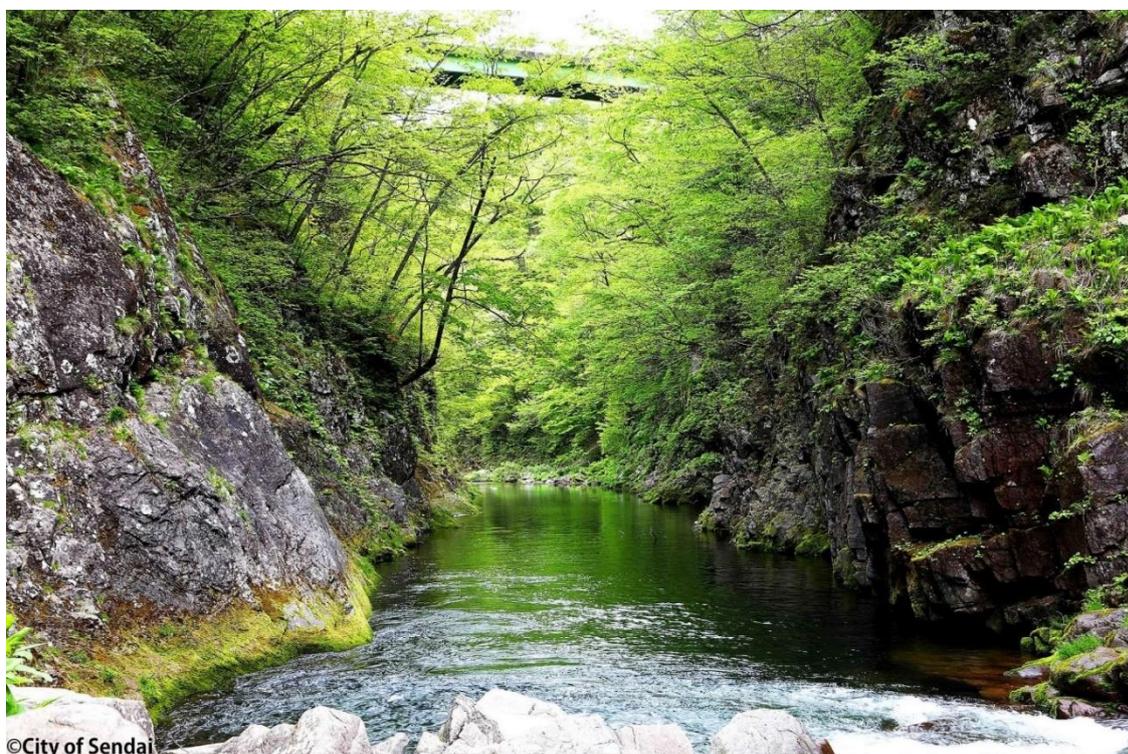


みんなの財政のミカタ

令和3年度
予算版

仙台市の財政を分かりやすく説明します



©City of Sendai

令和3年6月
仙台市

Part1.予算解説編では、仙台市の令和3年度予算についてお知らせします。
予算は、1年間の市の収入や支出の見積もりです。

目次

1.	令和3年度予算額	1
	仙台市全体の予算額は？「3つのお財布」ってなに？	
2.	歳入	2
	仙台市の1年間の収入はどうなっているの？	
3.	歳出	3
	支出の「2つの見方」ってどういうこと？	
4.	仙台市の財政状況	5
	仙台市の財政状況ってどうなの？	
5.	財政見通しと行財政改革	7
	これからの仙台市の財政はどうなるの？	
※	コラム：令和3年度予算を家計に例えると？	10

Part2. 資料編

1.	令和3年度特別会計の主な事業計画	12
2.	令和3年度企業会計の主な事業計画	14
3.	令和2年度末現在の財政状況（令和3年3月31日現在）	
	(1) 予算の執行状況（一般会計・特別会計・企業会計）	17
	(2) 市債、市有財産、基金などの状況	19

編集・発行
仙台市財政局財政部財政企画課

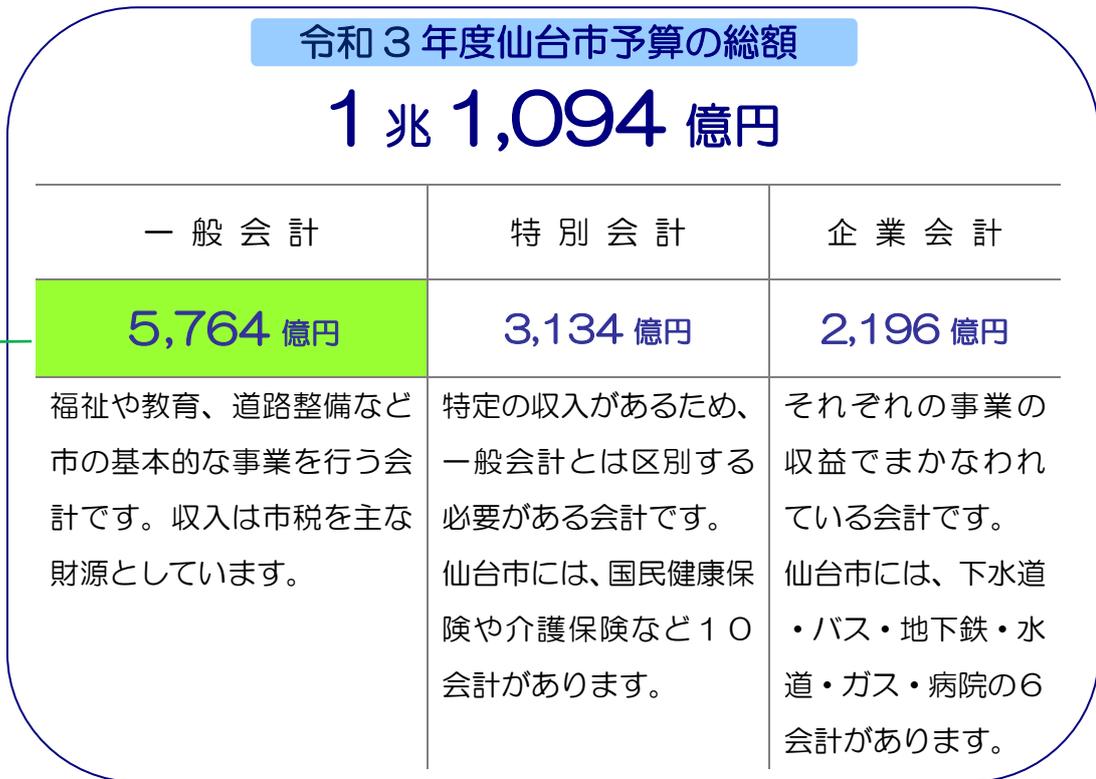
仙台市青葉区国分町三丁目7-1
電話 022 (214) 8111
FAX 022 (262) 6709
E-MAIL zai003005@city.sendai.jp

1. 令和3年度予算額

仙台市全体の予算額は？「3つの財布」ってなに？

令和3年度の1年間に、仙台市全体でどれほどのお金が使われる予定なのか見てみましょう。

「会計」とは、家庭における「お財布」にあたるものです。収入をどの事業に使っているのかを分かりやすくするために、お財布（会計）を一般会計・特別会計・企業会計の3つに分けています。



「みんなの財政のミカタ」では、主に「一般会計」について説明をしていきます。特別会計・企業会計については、「Part2. 資料編」をご覧ください。



令和3年度予算の特徴

新たな基本計画の初年度として、「挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City” SENDAI～」の理念のもと、3つの柱に予算を重点配分しました。

柱1 「社会変化を力に変えるまちづくり」

新型コロナウイルス感染症対策、コロナ禍の経済施策・観光振興、デジタル化推進

柱2 「人のつながりが育む豊かな地域づくり」

教育環境の充実、子育て応援まちづくり、多様な力を活かした地域づくり、安心して暮らせる地域づくり

柱3 「杜の都の可能性を広げるまちづくり」

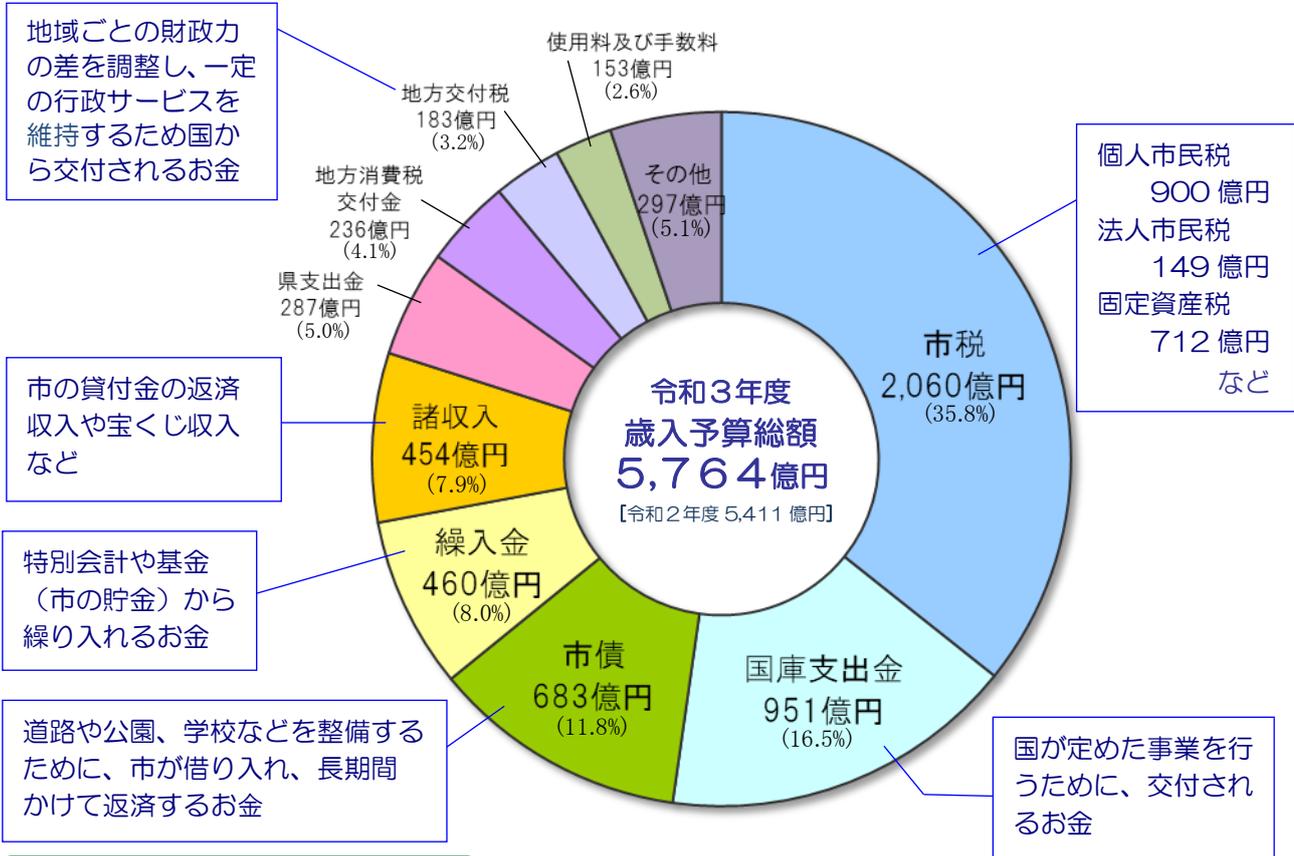
都心再構築、防災環境都市推進、杜の都の継承・発展

2. 歳入

仙台市の1年間の収入はどうなっているの？

市の1年間の収入である歳入について説明します。

()は構成比



令和3年度歳入の特徴は？

市税

法人市民税や固定資産税が減少したことなどにより、前年度から119億円減少しています。[R2年度 2,179億円]

市債

臨時財政対策債(5ページ参照)が増加したことなどにより、前年度から165億円増加しています。[R2年度 518億円]

繰入金

財政調整基金繰入金などが増加したことや、市債管理基金借入金を計上したことにより、前年度から110億円増加しています。[R2年度 350億円]



市税とは

市の行政サービスにかかる費用を、できる限り多くの市民に分担していただくという性格の「市民税」や、市内に土地や家屋などを持っている方に、その価格をもとに算定された金額を納めていただく「固定資産税」などの税金のことです。また「市民税」には、給与収入などに応じて個人の方に納めていただく「個人市民税」と、市内の会社に納めていただく「法人市民税」があります。

3. 歳出

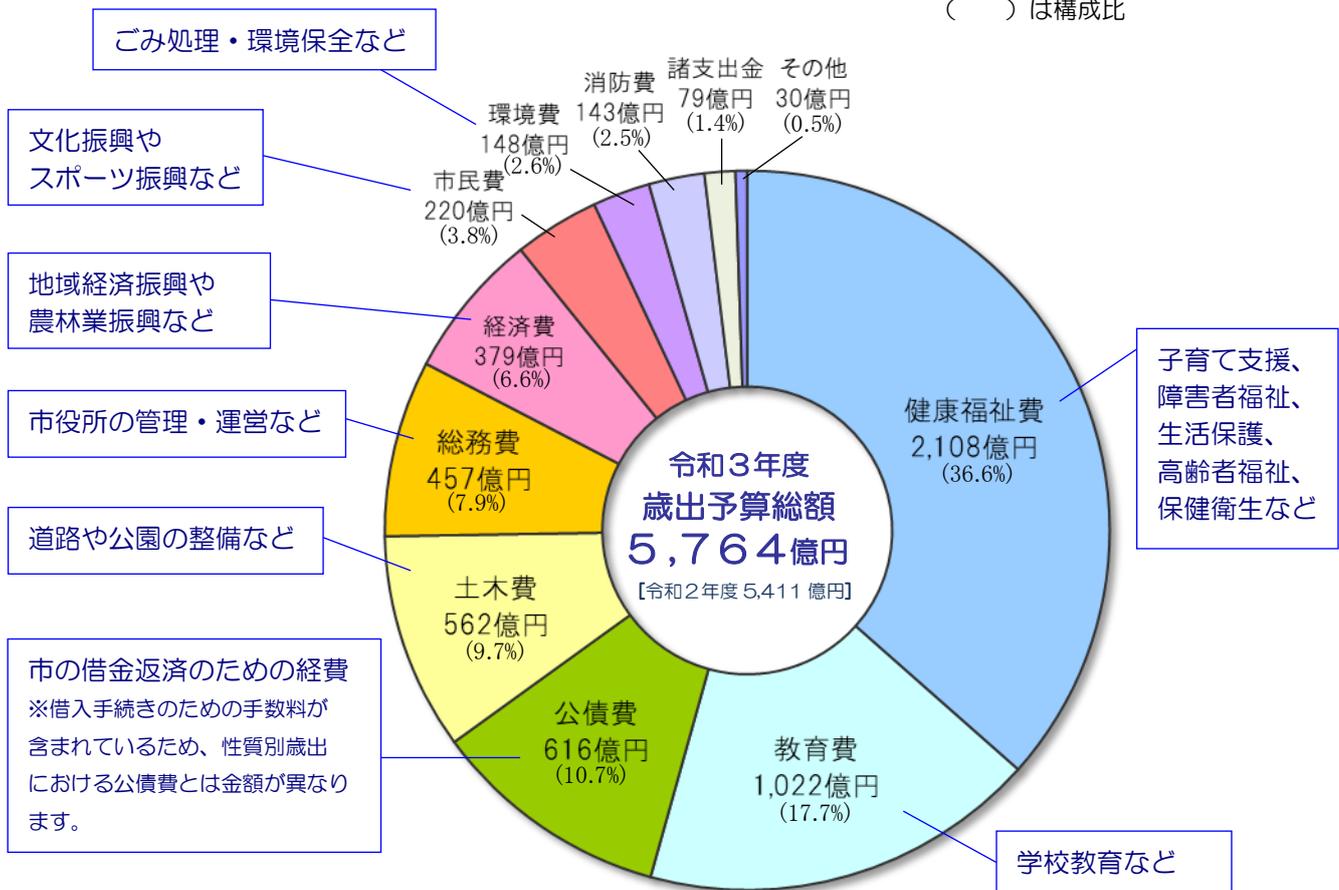
支出の「2つの見方」ってどういうこと？

令和3年度の歳出予算額は前年度から353億円増加し、5,764億円となりました。

歳出は、福祉、教育など行政サービスの目的で分類した「目的別歳出」と、扶助費、人件費など、経費の性質で分類した「性質別歳出」の、「2つの見方」をすることができます。

目的別歳出

()は構成比



令和3年度歳出の特徴と主な事業は？

経済費

中小企業への融資のための預託金の増加などにより、前年度から140億円増加しています。[R2年度 239億円]

総務費

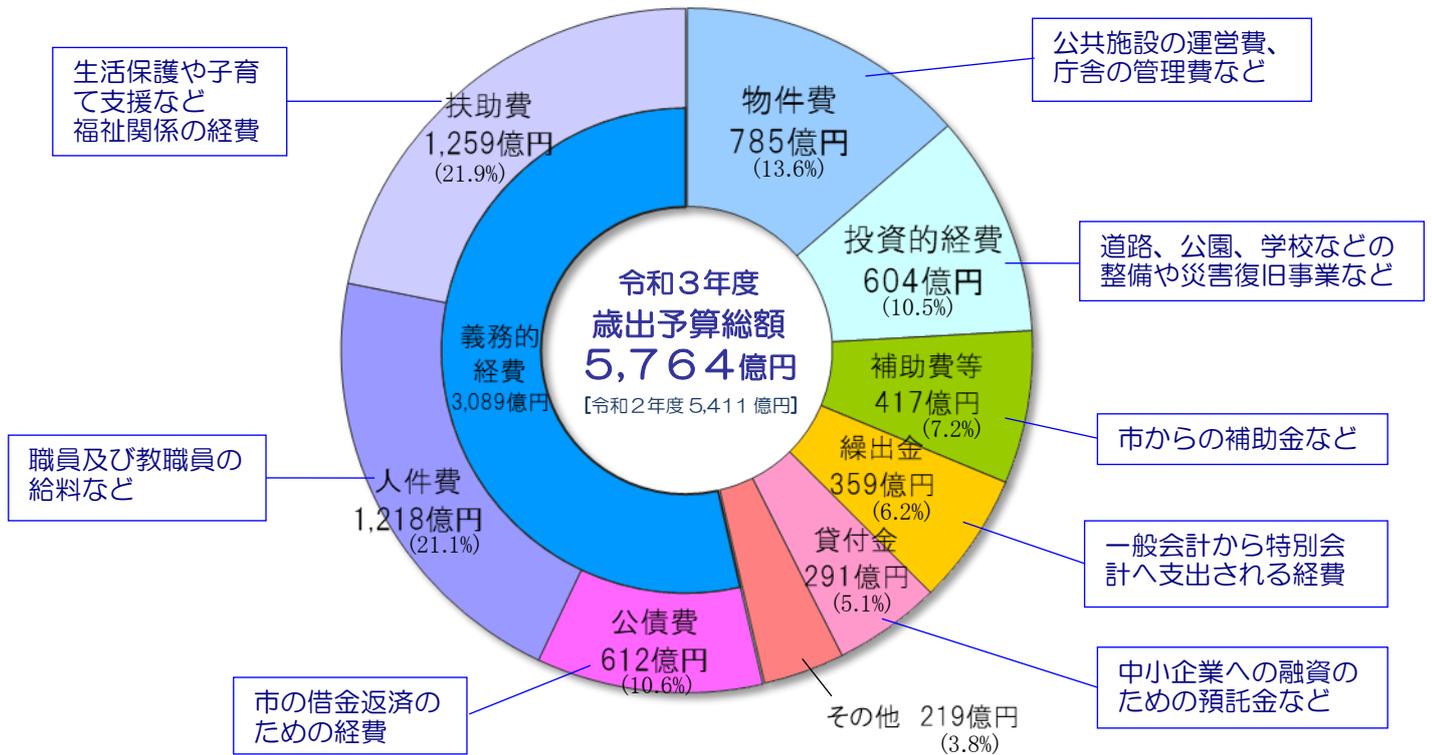
過年度に交付された国庫支出金の還付の増加などにより、前年度から108億円増加しています。[R2年度 349億円]

健康福祉費

認定こども園等の運営に要する費用の増加などにより、前年度から54億円増加しています。[R2年度 2,054億円]

性質別歳出

() は構成比



グラフの左側部分にあたる人件費・扶助費・公債費を「義務的経費」といいます。

これらは任意に削減することができない経費であり、この割合が大きくなると、新しい事業に使える経費が少なくなります。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う予算は？

令和元年度補正予算から令和3年度補正予算（令和3年6月30日時点）までにおいて、新型コロナウイルス感染症対策として累計2,231億円を予算計上し取り組んできました。引き続き、感染拡大防止や地域経済への支援を始めとした感染症対策を進めていきます。

新型コロナウイルス感染症対策 累計 2,231 億円

() 内は主な事業

市民の「命」を守る医療・検査体制の確立 [255 億円]	<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生体制の確保 224 億円（ワクチン接種、PCR検査） 医療提供体制の確保 31 億円（発熱患者への医療の確保、自宅療養者生活支援）
市民の「暮らし」を支える感染症にも強い地域社会づくり [1,228 億円]	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活 1,111 億円（特別定額給付金、生活困窮者自立支援） 教育・子育て 108 億円（子育て世帯への給付金、GIGA スクール） 福祉施設・公共施設感染症対策 9 億円
仙台の「経済」の活性化とまちの賑わいの創出 [748 億円]	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み 728 億円（感染症拡大防止協力金、時短要請等関連事業者支援金、地域消費喚起割増商品券） 地域経済や観光・イベントの「新しい生活様式」への対応、持続的な文化・スポーツ支援 20 億円（地域産業応援金、屋外イベント開催・文化芸術活動支援）

注) 特別会計・企業会計を含みます。

4. 仙台市の財政状況

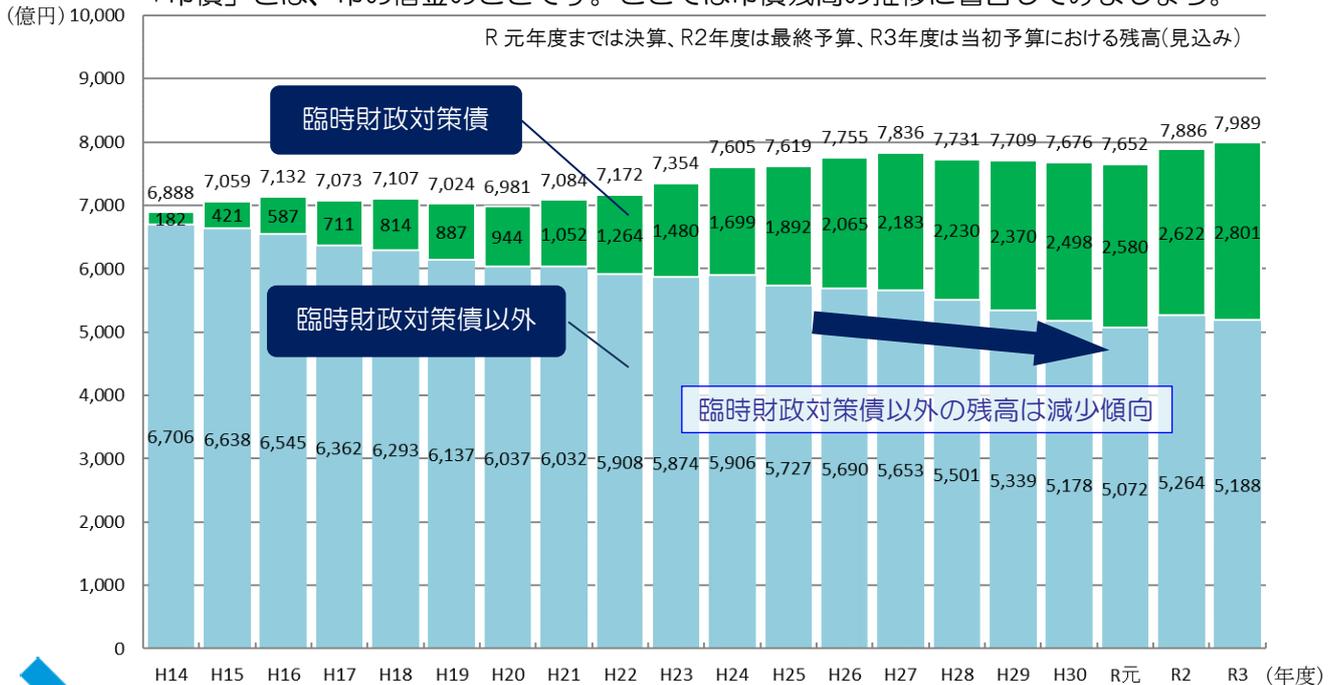
仙台市の財政状況ってどうなの？

ここまでは、主に一般会計の予算額について見てきました。

ここからは、財政状況を判断する手がかりとなる、市債や基金の残高を見ていきましょう。

市債

「市債」とは、市の借金のことです。ここでは市債残高の推移に着目してみましょう。



仙台市の市債残高(※1 普通会計)は、令和3年度末で7,989億円となる見込みです。

「臨時財政対策債」※2の残高が増加する一方で、それ以外の市債残高については、行財政改革の効果などにより着実に減少しています。

※1 他都市との比較がしやすいように、一般会計・特別会計を全国一律の基準で組み替えた会計を「普通会計」といいます。

※2「臨時財政対策債」って何？

「臨時財政対策債」とは、地方交付税の原資となる国税収入が不足していることから、その不足を埋める対策の一つとして、国から本来交付されるべき地方交付税の代わりに、地方が発行する特別な市債です。仙台市では、近年、本来交付されるべき地方交付税の半分以上が臨時財政対策債に振り替えられています。この市債の返済に必要な額は、全額が後年度に地方交付税等として手当てされます。

そもそもどうして市債を発行するの？

市債は主に、道路や学校など、将来にわたって長く利用される施設の建設費、整備費用に充てられています。市債を発行して返済を後の年度にも分けて行うことで、施設を利用する将来の世代の方にも、建設費用を公平に負担していただくことができます。

基金

「基金」とは、家計の貯金にあたるものです。

基金には、年度間で予算の財源の調整を行う「**財政調整基金**」のほか、特定の目的に使うために積み立てている基金などがあります。

令和3年度末での基金残高見込み（令和2年度最終予算、令和3年度当初予算における残高）

一般会計	2,001 億円	特別会計	245 億円
・ 財政調整基金	11 億円	国民健康保険や介護保険の 財源調整を行う基金など	※企業会計には、基金がありません など
・ 市債管理基金	1,213 億円		
・ 高速鉄道建設基金	511 億円		
・ 市庁舎整備基金	122 億円		
・ 公共施設保全整備基金	73 億円		
・ 震災復興基金	25 億円		

それぞれの基金ってどんなもの？

市債管理基金

市債の返済に必要な資金を計画的に積み立てている基金

高速鉄道建設基金

地下鉄建設等のために発行した市債の返済などに備えて積み立てている基金

市庁舎整備基金

本庁舎建替など市庁舎の整備を図るために積み立てている基金

公共施設保全整備基金

公共施設の長寿命化の推進や計画的な更新を図るために積み立てている基金

震災復興基金

東日本大震災からの復興に関する事業の推進を図るために積み立てている基金

5. 財政見通しと行財政改革

これからの仙台市の財政はどうなるの？

仙台市の財政状況について、これからの見通しを説明します。



今後の財政見通し

今後の財政見通しについては、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、国における地方交付税の対応の方向性や税制改正など、歳入歳出とも不確定な要素がありますが、一定条件に基づき試算した令和6年度までの財政見通しをご説明します。（下記は、令和3年度当初予算編成時点のものです。）

今後の収入と支出(普通会計)の見通し			(単位 億円)		
		令和3年度	4年度	5年度	6年度
収入	市 税	2,060	2,164	2,214	2,220
	地方交付税	183	181	159	156
	国・県支出金	1,238	1,255	1,293	1,295
	市 債	684	560	619	636
	そ の 他	1,566	1,110	1,121	1,122
	合 計	5,731	5,270	5,406	5,429
支出	人 件 費	1,217	1,228	1,232	1,238
	扶 助 費	1,236	1,259	1,285	1,313
	公 債 費	629	603	601	613
	普通建設事業費	596	589	713	723
	そ の 他	2,053	1,917	1,918	1,906
	合 計	5,731	5,596	5,749	5,793
収 支 差			△ 326	△ 343	△ 364



※普通会計で試算しているため、P1~4の令和3年度予算額とは金額が異なります。

- 収 入 | 固定資産税等の軽減措置の終了などによる市税収入の緩やかな回復が見込まれる一方、連動する形で普通交付税は減少する見通しです。その他の財源については、普通建設事業の進捗等と連動して推移する見通しです。
- 支 出 | 復興事業費が減少する一方、高齢化の更なる進展や厳しい社会情勢の影響等により社会保障関係費が増加するとともに、インフラを含む公共施設の長寿命化対策及び更新にかかる経費が確実に増加する見込みです。
- 収支差 | 収支差に対応する財源対策は限りがあるため、持続可能な財政基盤の構築が重要となっています。



主な収入の見通し

市 税	市税収入は、地域経済の回復が不透明であるものの、内閣府の経済見通しや固定資産税等の軽減措置の終了なども考慮すると、緩やかな回復傾向も認められる見通しです。
地方交付税	普通交付税は、市税収入等の推移と連動して減少する見通しです。
市 債	公共施設の老朽化対応を含む普通建設事業の進捗等と連動して推移する見通しです。



主な支出の見通し

人 件 費	退職者の増減に伴う変動もあり、横ばいからやや増加傾向となる見通しです。
扶 助 費	障害者福祉施策にかかる対象者の増加に加え、厳しい社会情勢を反映して生活保護費等が増加していく見通しです。
公 債 費	臨時財政対策債の償還や震災以前の普通建設事業の抑制傾向等の要素と連動して推移する見通しです。
普通建設事業費	公共施設の長寿命化対策や更新を計画的に進めていくことにより増加していく見通しです。
繰 出 金	国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業等に要する費用は、高齢化の進展や医療費の増加等により増加していく見通しです。



今後の財政運営

感染症の収束は未だ見通せないことに加え、本格的な少子高齢・人口減少社会の到来を見据えると、今後の本市の財政運営は予断を許さないものと見込まれます。

財政構造の硬直化が進行しているという現状も踏まえ、地域経済の早期の回復、成長促進による税源涵養に加え、新たな仙台市役所経営プランの策定を通じた事務事業の見直しや効率化の推進、公共施設総合マネジメントプランに基づく施設の長寿命化や事業費の更なる平準化など、歳入歳出両面におけるあらゆる方策を講じ、将来にわたる健全な財政運営につなげていくことが重要です。

行財政改革の取組み

多様化する市の課題に対応し、将来にわたり市民の皆様に行行政サービスを提供していくためには、しっかりとした行財政運営基盤が必要です。そのため、仙台市では、平成7年以降、継続的に行財政改革計画を策定し、効率的な行財政運営に取り組んでいます。平成31年4月には「仙台市役所経営プラン」を策定しました。

具体的にどんなことに取り組むの？

「仙台市役所経営プラン」(計画期間＝令和4年度当初まで)における取組みの一部を紹介します。

<p>公共施設マネジメントの推進</p>	<p>平成26年3月に策定した「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」に基づき、公共施設を効果的・効率的に活用し、必要なサービスを持続的に提供するための取組みを行います。</p>
<p>市有建築物やインフラ系施設の長寿命化の推進</p>	<p>学校や市民活動の拠点となる施設については、改修の優先順位を定めた上で、順次改修を進めます。</p> <p>大規模かつ特殊性を有する施設については、それぞれ財政負担水準を把握し、年次調整の上で、改修を進めます。</p> <p>道路や公園などをはじめとするインフラ系施設について、それぞれの分野ごとに、長寿命化等に向けた取組方策を検討・整理し、推進します。</p>
<p>市有地などの市有財産の処分や有効活用の推進</p>	<p>公共施設の用途廃止や都市計画道路等の見直しにより公共用途での利用見込みがなくなった土地について、売却や貸付による収入の確保に努めます。</p>
<p>市税や保険料などの収入率・収納率の向上</p>	<p>市税、保険料について、市民の利便性向上を図りつつ、将来にわたる安定的な収入の確保に努めます。</p> <p>また、組織横断的な取組みにより滞納整理に関するノウハウの共有を図るなど、より効果的・効率的な徴収対策に努め、収入率・収納率の向上に取り組めます。</p>
<p>民間活力の導入などによる行財政運営の効率化</p>	<p>保育所の民営化や、収入率・収納率向上に向けたBPO※の活用など、民間活力の導入により行財政運営のさらなる効率化に向けた取組みを進めます。</p> <p>※BPO・・・ビジネス・プロセス・アウトソーシング。組織運営上の業務やビジネスプロセスを専門企業に外部委託すること。</p>

これらをはじめとした計画全体の平成28年度当初から6年間の取組みの効果として、約280億円を見込んでいます。

コラム：令和3年度予算を家計に例えると？

仙台市と家庭では、金額やお金の使い道に大きな違いがあるため、単純に比較はできませんが、令和3年度の一般会計の予算を年収400万円（1か月あたり33万3千円）とした場合の家計に例えてみました。

仙台市の1か月の家計簿

収入		支出	
・給料	22万7千円	・食費(人件費)	7万円
基本給(市税)	11万9千円	・医療費(扶助費)	7万3千円
諸手当(地方交付税、国県支出金など)	10万8千円	・住宅ローンの返済(公債費)	3万5千円
・アルバイト収入		・光熱水費、日用品費	
(使用料・手数料、財産収入など)	4万円	(物件費など)	4万6千円
・金融機関からの借金(市債)	3万9千円	・家電の買替え、家の修繕	
・貯金の取り崩し(繰入金)	2万7千円	(投資的経費・維持補修費)	4万1千円
		・子どもへの仕送り	
		(繰出金・貸付金など)	6万8千円
合 計	33万3千円	合 計	33万3千円



収入	支出
<p>給料は全体の68.2%を占めていますが、令和2年度から減少しており、給料だけでは全ての支出を賄うことができない状況です。</p> <p>金融機関からの借金をしたり、不足額を補うために貯金の取り崩しをしたりしています。</p>	<p>医療費が21.9%、次いで食費が全体の21.1%を占めており、高い割合となっています。</p> <p>食費、医療費、住宅ローンの返済といった必ずかかる費用が全体の53.6%を占めています。</p>

Part2.資料編では、地方自治法第243条の3及び地方公営企業法第40条の2の規定のほか、各法に関連する市の条例の規定に基づき、財政状況等を公表します。

仙台市の財政状況についてさらに詳しく知りたい方は、仙台市のホームページをご覧ください。

<https://www.city.sendai.jp/shikin/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/index.html>

1. 令和3年度特別会計の主な事業計画

■ 都市改造事業特別会計

(仙台市が施行する土地区画整理事業の会計)

- ・蒲生北部地区の被災市街地復興土地区画整理事業により防災集団移転促進事業移転跡地等の整理・集約を行うとともに、都市基盤の再整備を行います。

■ 国民健康保険事業特別会計

(自営業者の方などが加入している国民健康保険の会計)

- ・平成30年4月から、国民健康保険制度の安定化を図るため、都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村とともに国民健康保険事業を運営しています。
- ・被保険者の医療費の支払い等に必要とする費用として625億円を見込んでおり、財源は県からの交付金で賄われます。
- ・医療費水準や所得額等に応じて県から示される国民健康保険事業費納付金の支払いに234億円を見込んでいます。

■ 中央卸売市場事業特別会計

(水産物、青果物、花き及び食肉を取り扱う市場の会計)

- ・本場運営・改修に17億円、食肉市場運営・改修に16億円を計上しています。
- ・生鮮食料品の安全・安定供給のために、水産棟床改修や青果棟床改修等を進め、安全対策のため自動火災報知機の改修等も併せて行います。
- ・食肉衛生管理や安定供給のために、汚水処理施設の改築や冷凍機設備の改修等を行います。

■ 公共用地先行取得事業特別会計

(事業を計画的に行うために、計画決定された道路用地などをあらかじめ取得するための会計)

- ・道路整備などの事業のために先行取得した用地の売り払いを行います。

■ 駐車場事業特別会計

(仙台市が設置する二日町、勾当台公園地下及び泉中央駅前の駐車場の会計)

- ・二日町、勾当台公園地下及び泉中央駅前の市営駐車場の運営管理を行います。

■ 公債管理特別会計

（仙台市の借入金である市債の元金や利子などの支払を行うための会計）

- 一般会計と特別会計の公債費を一括して経理するために設置しています。
- 令和3年度の支出内訳は、元金支払が856億円、利子支払が49億円、将来の元金支払のための積立金が275億円、手数料等が3億円です。

■ 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

（母子・父子世帯や寡婦の方に対する福祉資金貸付の会計）

- 貸付見込みの件数と金額は、母子福祉資金は151件で5,968万円、父子福祉資金は6件で271万円、寡婦福祉資金は7件で231万円です。

■ 新墓園事業特別会計

（長期的、安定的に市民の墓地を確保するため、新たな墓園を整備し、運営管理を行うための会計）

- 仙台市いずみ墓園において、貸出区画の外構工事を行います。
- 貸出募集については、春と秋の年2回を予定しています。

■ 介護保険事業特別会計

（65歳以上の方と、40歳以上65歳未満で特定の病気により介護が必要と認められた方を対象に介護サービスを行う介護保険制度の会計）

- 介護サービスに要する保険給付費は、773億円を見込んでいます。
- 介護予防・日常生活支援総合事業や地域包括支援センター（52カ所）運営などの地域支援事業を行います。
- 区役所などで、要介護認定事務及び介護保険制度や手続きの広報などを行います。

■ 後期高齢者医療事業特別会計

（75歳以上の方と、65歳以上75歳未満で一定の障害のある方を対象に医療の実施などを行う宮城県後期高齢者医療広域連合への保険料などを管理する会計）

- 市内の被保険者にご負担いただく保険料として100億円を見込んでいます。
- 運営主体は広域連合ですが、窓口業務は本市で行い、印刷や郵送費等の事務費として3億円を見込んでいます。
- 所得の少ない方の保険料負担を軽減するために18億円の支出を見込んでいます。

2. 令和3年度企業会計の主な事業計画

下水道事業会計（下水道の整備・維持管理を行う会計）

- ・大規模地震の発生時における被害を軽減するため、第3南蒲生幹線の整備や管さよの耐震化工事などを行います。
- ・高い浸水リスクを持つ地域における浸水被害を軽減するため、雨水排水施設の整備を進めます。

令和3年度業務予定量

- ・汚水処理戸数 52万7,350戸
- ・年間総汚水
処理水量 1億3,198万^m₃
- ・一日平均汚水
処理水量 36万^m₃

自動車運送事業会計（バス事業の会計）

- ・バリアフリー化推進や環境・安全対策として、ドライバー異常時対応システムを搭載した低公害型ノンステップバスの導入を進めます。
- ・バス待ち環境向上の取組みとして、バス停留所上屋の改修・増設や、電照式バス停留所の整備を行います。
- ・利便性向上の取組みとして、LED 行先表示器について、より視認性に優れた白色 LED への更新を開始します。

令和3年度業務予定量

- ・車両数 466 両
- ・年間走行km 1,626 万km
- ・年間総輸送人員 3,295 万人



高速鉄道事業会計（地下鉄事業の会計）

- ・安全な列車運行の確保のため、高圧受電設備等の更新を進めます。
- ・バリアフリー化の取組みとして、駅トイレ入口の段差解消やオストメイト用設備を備えた車椅子対応トイレの増設を行うほか、ホームと車両の間隙の縮小を進めます。
- ・利便性向上の取組みとして、台原駅におけるエスカレーター設備を増設します。

令和3年度業務予定量

- ・車両数 144 両
- ・年間走行km 1,260 万km
- ・年間総輸送人員 8,306 万人



水道事業会計（上水道事業の会計）

- ・災害時でも安定した給水が行えるよう、管路や施設の更新・耐震化や、単独配水区域の解消を進めます。
- ・災害対応力の強化のため、災害時給水施設の設置拡大や長期停電対策を推進します。
- ・水需要の減少に合わせた施設の再構築を進めます。
- ・アセットマネジメント手法による適切な維持管理・更新を行い、ライフサイクルコスト縮減を進めます。

令和3年度業務予定量

- ・使用給水栓数 47万7,000栓
- ・年間総配水量 1億1,939万 m^3
- ・一日平均配水量 32万7,100 m^3



ガス事業会計（都市ガスなどの供給事業の会計）

- ・保安面では、製造供給設備の適切な維持管理を継続し、保安レベルの維持向上を図るため、供給監視システムの改修や経年本支管の入替えなどを着実に実施し、都市ガスの安定供給に努めてまいります。
- ・営業面では、お客さまや住宅メーカー等との関係強化を進めるとともに、お客さまの他燃料への離脱防止対策や新規物件への都市ガス採用に向けた取組みに注力し、販売量の拡大を図ります。

令和3年度業務予定量

- ・供給戸数 34万4,901戸
 - 一般ガス事業 34万3,396戸
 - 附帯事業（プロパン） 1,505戸
- ・年間供給量（※）
 - 一般ガス事業 2億7,415万 m^3
 - 附帯事業（プロパン） 17万3千 m^3
- ・一日平均供給量（※）
 - 一般ガス事業 75万1千 m^3
 - 附帯事業（プロパン） 474 m^3



※一般ガス事業は熱量 45 メガジュール/ m^3

附帯事業（プロパン）は熱量 100.4652 メガジュール/ m^3

病院事業会計（市立病院の会計）

- 仙台医療圏の中核病院として、市民が必要とする救命救急医療・小児救急医療、周産期医療をはじめとする政策的医療を継続して提供していくとともに、第2種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症の診療を行っていきます。
- 国における地域包括ケアシステムの構築に向けた医療機能の分化・強化、連携の推進の動きを踏まえながら、市民から「選ばれる病院」、救急隊や地域の医療機関から「頼りにされる病院」、そして職員が「働きやすい病院」の実現を目指します。



令和3年度業務予定量

• 病床数	525床
うち一般病床	467床
精神病床	50床
感染症病床	8床
• 予定年間患者数	35万8,300人
うち入院	15万1,800人
外来	20万6,500人

3. 令和2年度末現在の財政状況（令和3年3月31日現在）

ここからは、令和2年度予算の執行状況や財産の状況などについてお知らせします。
 なお、出納整理期間※が設けられているため、令和2年度決算の状況については、別途お知らせします。

※ 年度末（3月31日）までに支払いや受け入れの原因が生じた場合、原則としてその年度の収支として取り扱うこととなりますが、実際の支払いや受け入れの手続きについて一定の整理期間が必要であることから設けられているもので、具体的には翌年度の5月31日までと定められています。

（1）予算の執行状況

- ① 一般会計 令和2年度の予算現額(令和2年度予算と令和元年度からの繰越予算を合計した額)は約7,237億円です。予算の執行率は歳入が83.2%、歳出が72.0%です。

歳入予算の項目別執行状況

(単位 億円)

科目	予算現額	収入済額	収入済割合
国庫支出金	2,308	2,080	90.1%
市 税	2,164	2,057	95.1%
市 債	768	347	45.2%
県支出金	421	299	70.9%
諸 収 入	361	283	78.4%
繰 入 金	303	80	26.4%
そ の 他	912	879	96.3%
合 計	7,237	6,025	83.2%

※収入済割合は、円単位で計算した場合の割合としています。

歳出予算の項目別執行状況

(単位 億円)

科目	予算現額	支出済額	支出済割合
健康福祉費	2,173	1,753	80.7%
市 民 費	1,270	1,224	96.4%
教 育 費	1,099	870	79.2%
土 木 費	723	424	58.6%
公 債 費	570	0	0%
経 済 費	544	375	69.0%
そ の 他	858	562	65.5%
合 計	7,237	5,208	72.0%

※支出済割合は、円単位で計算した場合の割合としています。

※公債費の支出済割合が0%となっているのは、市債の元利償還を一括管理している公債管理特別会計への繰出処理を出納整理期間中に行うためです。

② 特別会計

令和2年度末予算執行状況

(単位 億円)

会計名	予算現額	収入済額	収入済割合	支出済額	支出済割合
都市改造事業	54	26	47.4%	24	45.1%
国民健康保険事業	907	780	86.1%	825	91.0%
中央卸売市場事業	42	16	39.1%	20	48.0%
公共用地先行取得事業	14	5	35.1%	11	77.9%
駐車場事業	3	2	65.6%	1	27.5%
公債管理	1,155	327	28.3%	871	75.4%
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1	2	197.0%	1	62.0%
新墓園事業	8	3	36.2%	1	13.8%
介護保険事業	800	652	81.5%	706	88.3%
後期高齢者医療事業	121	114	94.2%	117	96.4%
合計	3,105	1,927	62.1%	2,577	83.0%

※収入済割合及び支出済割合は、円単位で計算した場合の割合としています。

③ 企業会計

令和2年度末予算執行状況

(単位 億円)

会計名	収益的			資本的			
	予算現額	執行済額	執行率	予算現額	執行済額	執行率	
下水道事業	収入	356	359	100.8%	290	175	60.3%
	支出	341	341	100.1%	429	309	72.0%
自動車運送事業	収入	89	86	96.6%	12	10	82.9%
	支出	107	102	95.9%	17	15	86.3%
高速鉄道事業	収入	198	194	98.2%	27	23	85.0%
	支出	260	255	97.7%	101	97	95.7%
水道事業	収入	287	290	101.0%	70	47	67.1%
	支出	270	255	94.7%	201	148	73.7%
ガス事業	収入	346	345	99.7%	42	11	26.0%
	支出	312	300	96.2%	85	67	79.2%
病院事業	収入	179	188	105.2%	12	11	94.9%
	支出	193	188	97.2%	15	15	98.1%
合計	収入	1,455	1,462	100.5%	453	277	61.2%
	支出	1,483	1,441	97.2%	848	651	76.7%

※執行率は、円単位で計算した場合の割合としています。

※消費税等込みの金額となっています。

(2) 市債、市有財産、基金などの状況

令和2年度決算の状況については、別途お知らせします。

① 市債の状況

会計別市債現在高

(単位 千円)

会計名	現在高	借入先				
		財務省	独立行政法人 郵便貯金簡易生命 保険管理・郵便局 ネットワーク支援 機構	地方公共団体 金融機構	市場公募債	市中銀行等
一般会計	838,169,046	166,580,537	4,518,488	63,824,344	463,970,312	139,275,365
特別会計	31,795,450	1,757,057	32,961	5,751,097	16,779,688	7,474,647
都市改造事業	16,016,253	204,328	32,961	454,250	13,202,288	2,122,426
中央卸売市場事業	10,140,376	1,552,729	0	5,296,847	44,000	3,246,800
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	593,831	0	0	0	0	593,831
新墓園事業	5,044,990	0	0	0	3,533,400	1,511,590
企業会計	423,423,013	108,139,940	29,601,507	184,868,346	0	100,813,220
下水道事業	182,672,582	28,738,335	29,130,092	72,038,101	0	52,766,054
自動車運送事業	3,982,796	129,990	0	197,056	0	3,655,750
高速鉄道事業	124,526,031	14,704,561	471,415	73,806,027	0	35,544,028
水道事業	59,699,761	33,071,409	0	22,944,552	0	3,683,800
ガス事業	31,156,707	16,893,623	0	12,823,512	0	1,439,572
病院事業	21,385,136	14,602,022	0	3,059,098	0	3,724,016
合計	1,293,387,509	276,477,534	34,152,956	254,443,787	480,750,000	247,563,232

一般会計のうち目的別内訳

(単位 千円)

区分	現在高	区分	現在高
総務債	6,081,753	高速鉄道事業債	101,227,524
市民債	33,590,686	水道事業債	2,727,429
健康福祉債	37,550,083	災害復旧債	4,972,009
環境債	8,908,983	減税補てん債	26,076,400
経済債	3,729,645	臨時税収補てん債	263,000
土木債	232,704,783	臨時財政対策債	289,149,325
消防債	14,183,949	減収補てん債	4,154,643
教育債	72,848,834	猶予特例債	0
		合計	838,169,046

② 市有財産、基金の状況

一般会計と特別会計の財産

	単位	行政財産※ ¹		普通財産※ ⁴	合 計
		公用財産※ ²	公共用財産※ ³		
土地	m ²	2,007,052	34,805,280	14,864,472	51,676,804
建物	m ²	363,508	3,128,378	77,083	3,568,969
山林（市有林）	m ²	3,326,535		17,892,760	21,219,295
立木	m ³	59,685		393,294	452,979
物権	m ²	35,984		8,060	44,044
動産	機	2		0	2
無体財産権	件	25		0	25
有価証券	千円	144,879			144,879
出資による権利	千円	8,347,312			8,347,312
物品	千円	22,119,437			22,119,437
債権	千円	16,516,763			16,516,763
基金※ ⁵	千円	264,547,426			264,547,426

注) 土地のうち、行政財産の3,326,535m²と普通財産の12,886,459m²は山林（市有林）と重複しています。また、立木は推定蓄積量です。

※1 行政財産 | 市が所有している財産で、行政目的に利用されているものや、利用されることが決定されたもので、公用財産と公共用財産に分けられます。

※2 公用財産 | 庁舎など、市が事務を行うために直接使用することを本来の目的とする財産です。

※3 公共用財産 | 公園、学校など、市民の皆さんが利用することを本来の目的とする財産です。

※4 普通財産 | 行政財産以外の財産です。直接特定の行政目的に使われるものではなく、一般私人と同等の立場で所有し、貸付などによる収益は市の財産収入となるものです。

※5 基金 | 財政の健全な運営や特定の目的のため財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産です。本市の場合、17の基金が設置されています。

（17の基金：財政調整基金、市債管理基金、高速鉄道建設基金、百年の杜づくり推進基金、環境保全基金、福祉基金、文化振興基金、仙台城史跡整備基金、震災復興基金、公共施設保全整備基金、中小企業活性化基金、市庁舎整備基金、奨学金返還支援基金、災害救助基金、土地開発基金、国民健康保険事業財政調整基金、介護保険事業財政調整基金）

企業会計の財産

(単位 千円)

	下水道事業	自動車運送事業	高速鉄道事業	水道事業	ガス事業	病院事業	合計
土地	20,179,207	2,718,212	14,027,394	8,625,364	8,702,870	9,170,830	63,423,877
土地面積 (㎡)	2,080,691	125,673	239,907	2,621,738	284,643	35,018	5,387,670
建物	27,250,451	1,078,954	42,572,028	6,745,738	2,673,889	14,319,539	94,640,599
建物面積 (㎡)	123,361	14,355	242,745	70,802	37,813	55,800	544,876
構築物	481,378,242	225,476	193,608,912	142,506,721	26,559,545	245,991	844,524,887
未竣工施設 建設仮勘定	27,530,824	8,800	194,701	3,504,718	494,532	0	31,733,575
車両運搬具	22,023	1,606,878	5,189,625	44,052	57,104	601	6,920,283
機械及び装置	52,460,149	46,428	6,584,552	12,219,444	4,861,569	1,533,958	77,706,100
器具工具備品	52,458	446,755	116,783	413,809	34,816	0	1,064,621
リース資産	0	0	0	50,138	70,994	0	121,132
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0
出資による権利	27,000	28,103	93,289	69,500	141,897	0	359,789
無形固定資産	3,294,158	16,535	7,630	5,596,481	746,264	36,083	9,697,151
合計 (千円)	612,194,512	6,176,141	262,394,914	179,775,965	44,343,480	25,307,002	1,130,192,014

注) 財産のうち、建物、構築物、車両運搬具、機械及び装置、器具工具備品、リース資産、無形固定資産については、減価償却後の金額です。

③ 一時借入金の状況

(単位 千円)

会計名		現在高
一般会計		0
特別会計		0
企業会計		0
内訳	下水道事業	0
	自動車運送事業	0
	高速鉄道事業	0
	水道事業	0
	ガス事業	0
	病院事業	0
合計		0

※一時借入金は、支払い資金の不足を臨時的に補うために、その年度内で償還する条件で借り入れるものです。

[寄附のお願い]

仙台ふるさと応援寄附

仙台ふるさと応援寄附



仙台市は、復興の次のステージに向けて確実に歩みを進め、希望ある未来を創るため、人々の夢や意欲を育み、躍動し続けるまちづくりに取り組んでいきます。

皆様の寄附による仙台市への応援をよろしく願いいたします。

なお、令和2年5月より「新型コロナウイルス感染症対策」を寄附金の使いみちに追加しています。

● 寄附金の使いみち

お申し込みの際、寄附金の使いみちをお選びいただけます。

<input type="checkbox"/> 震災復興	<input type="checkbox"/> 防災・減災施策の充実	<input type="checkbox"/> ふるさとの杜再生	<input type="checkbox"/> 震災遺構・メモリアル施設運営
<input type="checkbox"/> 楽都仙台推進(音楽文化の振興)	<input type="checkbox"/> 文化芸術振興	<input type="checkbox"/> 仙台のお祭り応援	<input type="checkbox"/> 子育て支援
<input type="checkbox"/> 学校・学び・文化財・ミュージアム事業応援	<input type="checkbox"/> 障害者施策推進	<input type="checkbox"/> 高齢者施策推進	<input type="checkbox"/> 保健福祉推進
<input type="checkbox"/> ふるさと農業振興事業	<input type="checkbox"/> 社会起業家支援	<input type="checkbox"/> 奨学金返還支援	<input type="checkbox"/> 百年の杜づくり推進基金
<input type="checkbox"/> 八木山動物公園オフィシャルサポーター	<input type="checkbox"/> 街路樹・公園遊具管理	<input type="checkbox"/> 環境保全	<input type="checkbox"/> 地域の防犯・交通安全施策推進
<input type="checkbox"/> 動物愛護の推進	<input type="checkbox"/> 仙台国際ハーフマラソン大会応援	<input type="checkbox"/> スポーツ振興	<input type="checkbox"/> 協働によるまちづくりの推進
<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症対策	<input type="checkbox"/> 仙台まるごと応援	※ご指定がない場合は「仙台まるごと応援」に活用させていただきます。	

● 寄附された方と寄附金活用状況のご紹介

公表について承諾をいただいた方のお名前や、寄附金の活用状況などを仙台市ホームページで紹介しております。

● 税制面の優遇

○ 事業者の方

申告により、寄附金の全額が法人税の損金扱いとなります。

○ 個人の方

寄附（ふるさと納税）について確定申告をしていただくと、住民税と所得税から寄附金の2,000円を超える部分が一定限度控除されます。

一定の給与所得者等（寄附金の控除以外に申告すべき事項が無い方）は、ワンストップ特例申請により、税の申告を行わなくても寄附金の控除を受けられる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」をご利用いただけます。

※税の申告をする方、ふるさと納税先が5団体を超える場合はこの制度の対象とはなりません。

● 寄附のお申し込み

ホームページ「楽天ふるさと納税」からお申し込みいただけます。

申請書による場合は、ファックス、郵送、電子メール、持参のいずれかの方法により、仙台市役所財政局財政企画課までお申し込みください。

● 問合せ先

○ 仙台市への寄附に関すること：財政局財政企画課 電話：022-214-8111

○ 税の控除に関すること：お住まいの市区町村の税務担当課にお問い合わせください。
(仙台市にお住まいの方：財政局市民税課 電話：022-214-8637、8638)

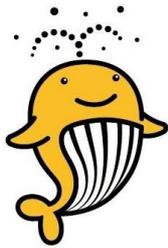
寄附の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

仙台ふるさと応援寄附

検索

<https://www.city.sendai.jp/zaiseikikaku-somu/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/oenkifu/index.html>

仙台市 宝くじ情報



みなさん
宝くじは
仙台市内で
買ってね。



宝くじのイメージキャラクター
「クーちゃん」

宝くじは、**仙台市内**でお買い求めください!!

仙台市内で販売された宝くじの売上の一部は、仙台市の収入となっており、**高齢化・少子化対策のための事業や環境保全事業などの貴重な財源**として活用しています。

宝くじは夢を持つことができるとともに、市民の皆様のよりよい生活のために大変役立つものなのです。

宝くじの情報は仙台市ホームページからもご覧いただけます！

仙台市 宝くじ情報

検索

宝くじ公式サイトなら
いつでもどこでも宝くじが買える！



ジャンボ
宝くじも
買える！

宝くじ

[交通局からのお知らせ]

お出かけには市バス・地下鉄をご利用ください

仙台市内の移動には、目的地のすぐ近くまで行ける**市バス**が便利！
地下鉄は、天候や渋滞の影響が少なく、所要時間がほぼ正確なので、お出かけの計画も立てやすい！

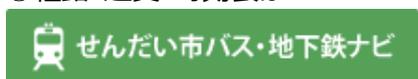
お得な運賃制度も色々ご用意していますので、お出かけには市バス・地下鉄をぜひご利用ください。



市バス

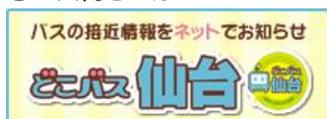
市バスと地下鉄を上手に乗りこなして 移動は「お得に、」時短で、

○経路・運賃・時刻表は



<https://www.navi.kotsu.city.sendai.jp/>

○バス待ちには

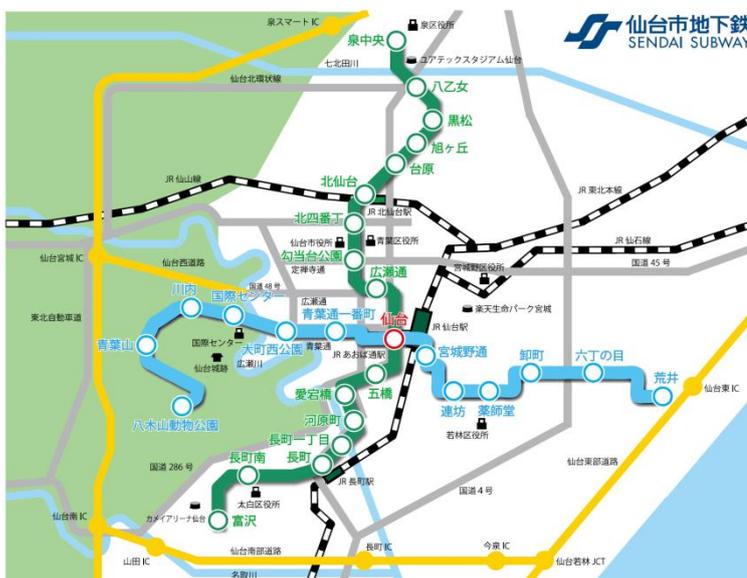


<https://www.dokobasu.kotsu.city.sendai.jp>

○仙台名所巡りには



<https://loople-sendai.jp/>



仙台市地下鉄 SENDAI SUBWAY

市バス・地下鉄のお得な運賃制度

○地下鉄 210 円均一

<https://www.city.sendai.jp/kokyo/kurashi/machi/kotsu/annai/210enkinritu.html>

○東西線結節駅周辺バス 100 円均一

<https://www.city.sendai.jp/kokyo/kurashi/machi/kotsu/annai/kessetu.html>

【休日のお出かけなどに便利な一日乗車券】

○市バス一日乗車券 ○地下鉄一日乗車券

○るーぷる仙台・地下鉄共通 1 日乗車券

<https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/card.html>

【通学に加えて習い事などの利用路線も格安で購入できる通学定期券】

○学都仙台フリーパス

https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/freepass/hanbai_index.html

お乗りの際は

イクスカ

「icsca」をどうぞ



IC チップが埋め込まれたカード乗車券。事前に入金(チャージ)しておけば、地下鉄の改札機

またはバスの運賃箱にタッチするだけで運賃が支払えます。

乗車回数や利用金額に応じてポイントも貯まります！

仙台市交通局
Transportation Bureau City of Sendai

お問い合わせ

交通局案内センター 022(222)2256

月～金/8:30～18:30、土・日・祝/8:30～17:00



Twitter でも情報発信中！ @sendaishi_kotu



交通局 HP